

次期総合5か年計画における「現状と課題、未来像、取組の方向性」(たたき台)

R4.2.14現在

基本目標 (現行)		確かな暮らしが営まれる美しい信州 ～学びと自治の力で拓く新時代～			
基本目標や未来像を考える上で重要な考え方・キーワード		・SDGs ・well-being (ウェルビーイング) ※ ・資本主義の再構築 ・環境と社会的公正を中心とした政策 ・誰一人取り残さない ・持続可能性 ・多様性と包摂 ・寛容性 ・共生社会 ・脱炭素社会 ・循環型社会 ・デジタル変革 ・安全・安心 ・協働・共創 ・ウィズ・アフター・コロナへの対応 ・信州の強みを活かす <small>※身体的・精神的・社会的に良好な状態にあることを意味する概念</small>			
現状と課題	長野県のこれから			未来像	取組の方向性 (例)
	～2025年	～2030年	～2050年		
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="margin-bottom: 10px;">低</div> <div style="margin-bottom: 10px;">不確実性</div> <div style="margin-bottom: 10px;">高</div> </div>	<p>→個別シート①</p> <p><b>1 人口減少と少子高齢化の進行</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歯止めのかからない少子化</li> <li>・高齢化の進行</li> <li>・担い手の不足 (産業、地域、伝統文化など)</li> <li>・小売・生活関連サービス利用者の減少</li> <li>・地域公共交通の存続危機</li> </ul>	<p>＜次期計画期間：2023～2027年＞</p> <p>【2025】団塊世代のすべてが75歳以上に</p> <p>【2030】団塊世代のすべてが80歳以上に</p> <p>【2045】高齢化率のピーク</p> <p>人口減少・少子高齢化の進行</p> <p>【2030以降】生産年齢人口の減少加速化</p>	<p>【望ましい未来】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・結婚・出産・子育ての希望がかなう</li> <li>・高齢者がいきいきと安心して暮らせる</li> <li>・人口減少・少子高齢化の下でも地域や産業に活力がある</li> </ul> <p>→個別シート③</p> <p>【起こりうる未来】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産年齢人口の減少</li> <li>・医療サービス、介護サービスの需要増</li> <li>・社会保障費の増加</li> <li>・産業の衰退</li> <li>・技術・技能・ノウハウの喪失</li> <li>・コミュニティ機能の低下</li> <li>・伝統文化の喪失</li> <li>・地域の生活必需サービスの維持困難</li> <li>・交通空白地域の増加</li> <li>・買い物弱者の増加</li> <li>・管理不全となる土地や道路、農地、森林、学校等の増加</li> </ul> <p>→個別シート②</p>	<p>→個別シート④</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・結婚・出産・子育てを社会全体で応援</li> <li>・働き方改革 (ワークライフバランス)</li> <li>・ライフステージ、ライフスタイルに応じた健康づくり</li> <li>・フレイル対策</li> <li>・医療提供体制 (在宅医療、へき地医療など)</li> <li>・地域包括ケア体制</li> <li>・産業間の労働移動</li> <li>・若手人材の育成・確保</li> <li>・高齢者人材の活用</li> <li>・副業・兼業人材の活用</li> <li>・中小企業の新陳代謝 (事業承継・再編・創業など)</li> <li>・働き方改革による余剰時間を活用した地域活動</li> <li>・持続可能で最適な地域公共交通ネットワークの構築</li> </ul>	
	<p><b>2 気候変動対策や持続可能な社会への意識の高まり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気候変動による気象災害の頻発化、激甚化</li> <li>・気候変動による産業への影響懸念</li> <li>・ゼロカーボン関連産業の成長と従来型産業の衰退</li> <li>・企業や個人の環境意識の変化</li> </ul>	<p>【2030】温室効果ガス-60%減 (2010年度比)</p> <p>【2050】温室効果ガス実質ゼロ (ゼロカーボン)</p> <p>気象災害の頻発化・激甚化</p> <p>未達成</p>	<p>【望ましい未来】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・脱炭素社会、持続可能な社会</li> </ul> <p>【起こりうる未来】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・甚大な人的・物的被害 → 3へ</li> <li>・観光、農林業などにおける被害の増大</li> <li>・ゼロカーボンへの対応の遅れによる産業の衰退</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・徹底的な省エネルギー</li> <li>・再生可能エネルギーの普及拡大</li> <li>・森林整備等によるCO2吸収量の増加</li> <li>・住宅・建築物のゼロエネルギー化</li> <li>・ゼロカーボンに向けた産業構造の転換</li> <li>・セキュラー・エコミーへの移行</li> <li>・水資源の保全・利活用</li> </ul>	
	<p><b>3 自然災害や感染症などの脅威</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気候変動による気象災害の頻発化、激甚化</li> <li>・巨大地震の発生リスク</li> <li>・インフラの老朽化</li> <li>・新型コロナの感染拡大</li> </ul>	<p>(時期、規模の予測困難) 巨大地震/パンデミックの発生</p> <p>【2037】建設後50年以上経過する橋梁の割合が55%超</p>	<p>【望ましい未来】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・過去の経験から学び、災害や感染症などの危機の際にいのちが守られる</li> </ul> <p>【起こりうる未来】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・甚大な人的・物的被害</li> <li>・インフラの機能・性能の低下</li> <li>・パンデミックによる社会経済システムの機能不全</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模災害への備え、県土の強靱化</li> <li>・自然災害対策 (ソフトの充実、デジタル技術の活用)</li> <li>・インフラの継続的なメンテナンス</li> <li>・次のパンデミックへの備え</li> <li>・医療提供体制の強化 (医療機関の役割分担、医療従事者の確保など)</li> </ul>	
	<p><b>4 社会に存在する様々な格差</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経済格差、教育格差などの拡大、社会の分断</li> <li>・世帯収入による子どもの生活への影響</li> <li>・働く女性の増加、正規雇用比率のジェンダーギャップ (L字カーブ)</li> <li>・労働生産性、人手不足における企業規模・業種間格差</li> </ul>	<p>【2030】SDGs達成年次</p>	<p>【望ましい未来】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年齢、性別・ジェンダー、障がい、生まれ、経済状態などに関わらず、誰にでも居場所と出番がある</li> <li>・県民一人ひとりの多様性やちがいを理解し、支え合いながら、個性や能力を活かしている</li> <li>・誰もが、それぞれに応じた機会やチャンスを持てる</li> </ul> <p>【起こりうる未来】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・格差の拡大、社会の分断の深刻化</li> <li>・貧困の連鎖</li> <li>・個人が生きづらい社会や地域、組織からの人材流出 (特に、20代女性の社会減)</li> <li>・中小企業・小規模事業者の雇用、技術・技能・ノウハウの喪失</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な生き方・働き方を支えるセーフティネットの充実</li> <li>・誰もが活躍できる場の創出 (高齢者、障がい者など)</li> <li>・働き方改革 (ダイバーシティ、ワークライフバランス)</li> <li>・中小企業・小規模事業者のDX</li> <li>・リカレント教育、リスキングの充実</li> </ul>	
	<p><b>5 新技術・デジタル化の加速</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オンラインサービスの利用増、テレワークなど多様な働き方の普及</li> <li>・情報格差 (デジタルデバイド)</li> <li>・人とのつながりの希薄化</li> <li>・中小企業における新たなビジネスチャンスの到来</li> <li>・IT人材の不足等によりICTを活かす企業存在、企業内教育の限界</li> </ul>	<p>技術の進化・創出、社会実装</p> <p>【2030】Beyond5Gの展開がスタート</p>	<p>【望ましい未来】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人とのつながりを大切にしながら、新技術やデジタルを活用して、誰もが質の高いサービスを受けている</li> <li>・新技術やデジタル活用により県内産業の競争力が向上している</li> <li>・いつでも、どこでも、誰でも学び直しができ、技術革新に伴う雇用環境の変化に適応した能力を身につけている</li> </ul> <p>【起こりうる未来】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・暮らし、産業、行政などにおけるデジタル化の遅れ</li> <li>・情報格差の拡大</li> <li>・子どもの社会性や対人関係能力の低下</li> <li>・DXの対応に乗り遅れた企業への機会損失</li> <li>・IT人材不足の拡大</li> <li>・AIやデジタル化による雇用の一部代替</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あらゆる分野でのDX (デジタル化ではなくトランスフォーム)</li> <li>・条件不利地域の活性化</li> <li>・個別最適な学びの実現</li> <li>・デジタルデバイドの解消に向けた情報弱者支援 (高齢者、障がい者、貧困世帯など)</li> <li>・デジタル活用と並行したリアルな人と人とのつながりの重視 (教育、医療・介護、福祉など)</li> <li>・様々な産業におけるイノベーションの創出、新たな市場への参入</li> <li>・人的資本への投資</li> <li>・産業間・職種間の労働移動</li> <li>・リカレント教育、リスキングの充実</li> </ul>	
	<p><b>6 海外との関係の変化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海外との人的往來の減少</li> <li>・増加傾向にあった外国人労働者、外国籍住民の減少</li> <li>・インバウンド需要の消失</li> <li>・訪日外国人の「コト」消費への関心増</li> <li>・経済安全保障による企業の海外戦略の見直し</li> </ul>	<p>(時期予測困難) 海外との往來回復</p> <p>国際社会における様々な分断・対立</p>	<p>【望ましい未来】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当たり前前に世界とつながり、県内でグローバルな社会経済活動が営まれている</li> <li>・工業製品、農産物・物産、観光地が世界から選ばれている</li> </ul> <p>【起こりうる未来】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・異文化理解、国際感覚の低下</li> <li>・多文化共生社会への意識の低下</li> <li>・インバウンド客が他の国や地域へ流出</li> <li>・人権、環境問題に適応できない企業のサプライチェーンからの除外</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際感覚を持ったグローバル人材の育成</li> <li>・観光は事業者単位ではなく、歴史・文化・暮らし等をストーリーに、地域でブランディング</li> <li>・インバウンド復活を見据えた他国へのアプローチ (オンライン商談会・情報発信など)</li> </ul>	
	<p><b>7 東京一極集中から地方分散への動き</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時間や空間に捉われない働き方の普及</li> <li>・地方移住、二地域居住への関心の高まり</li> <li>・関係人口に見られる地域との関わり方の多様化</li> <li>・リスク回避のための企業の地方移転・分散の動き</li> </ul>	<p>【2027】リニア中央新幹線 (品川～名古屋) 開業</p> <p>【2037】リニア中央新幹線 (名古屋～大阪) 開業</p>	<p>【望ましい未来】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な魅力で人をひきつけ、本県に暮らしすべての人が希望するライフスタイルを実現している</li> <li>・本県と多様な関わりを持つ人が全国にいて、県内で地域の担い手として活躍している</li> <li>・本県をフィールドとして選択する企業が増加している</li> </ul> <p>【起こりうる未来】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地方回帰」の流れを逸し、大都市圏のひと・企業から選ばれない</li> <li>・東京圏への人口流出が継続</li> <li>・スーパー・メガリージョン形成後の効果が限定的</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かさ、しあわせの発信</li> <li>・豊かな自然などの地域の特色をいかした、人や企業をひきつける魅力ある地域づくり (信州回帰プロジェクト)</li> <li>・生活に必要な不可欠な医療、教育、交通などの基盤づくり</li> <li>・道路ネットワークの充実 (コンパクトな拠点とネットワークの構築)</li> <li>・賑わいのあるまちづくり (ウォークアブルなまちづくり、グリーンインフラの導入)</li> <li>・多様な教育の充実</li> </ul>	
	<p><b>8 ライフスタイルや価値観の多様化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「物の豊かさ」から「心の豊かさ」を求める価値観の変化</li> <li>・地域社会の多様化 (活動主体、活動方法など)</li> </ul>		<p>【望ましい未来】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様性が認められる社会の中で自分らしさを追求できる</li> <li>・柔軟性に富み、変化を恐れない地域コミュニティ</li> </ul> <p>【起こりうる未来】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人生100年時代の働き方、暮らし方の変化に対応できる人とできない人、多様な生き方を受け入れる地域とそうでない地域の二極化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様性を力にしたイノベーションの創出 (女性、若者、ベンチャー)</li> <li>・働き方改革 (多様で柔軟な働き方)</li> <li>・変化の時代を生き抜くための人間力を養う (子どもの非認知的能力、大人の学び)</li> </ul>	